

## 第 64 回日本医学放射線学会総会・学術集会案内(Ⅱ)

会 長 石 垣 武 男

第 64 回日本医学放射線学会総会を下記の要領で開催いたします。

記

メインテーマ 「わ」

### 1. 期 日

理事会，総会(代議員)	平成 17 年 4 月 7 日(木)
開会式，学術集会	4 月 8 日(金)
学術集会	4 月 9 日(土)
学術集会，閉会式	4 月 10 日(日)

### 2. 会 場(学術発表)

パシフィコ横浜 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1  
TEL : 045-221-2121

### 3. 学術発表

一般演題(一般演題，教育演題)の他に，合同特別講演，CyberRad，合同シンポジウム，特別講演，教育講演，研究発表，イメージインタープリテーション・セッション等を予定しています。

### 4. 発表形式

口演：発表時間 7 分，討論 3 分の予定で PC での発表に限らせていただきます。PC は持ち込みとさせていただきます。

電子ポスター展示：写真，図表が主体となる発表。発表は電子ポスターによる展示発表をお勧めします。

口演・展示発表ともに，日本語，英語どちらでも可です。

CyberRad：電子情報機器を用いた発表。(RSNA の infoRAD に相当)

### 5. 演題応募について

ホームページを用いたオンライン登録に限定します。

アドレス：<http://square.umin.ac.jp/jrs>

受付開始：平成 16 年 8 月 3 日(火)

演題応募締切日：平成 16 年 10 月 20 日(水)午後 12 時

推奨環境は，Internet Explorer 4.0 以上，Netscape Navigator 4.01 以上です。古いバージョンのブラウザをお使いの場合やファイアウォールの使用，登録プログラムとの相性などにより正常に演題登録で

きないことがありますので、確認して下さい。

パスワードと登録番号は控えておいて下さい。

- 1) 発表者は平成 16 年 10 月 20 日現在の正会員に限ります。入会手続きは、同日までに必ず完了しておいて下さい。ただし、外国人留学生はこの限りではありません。留学生確認書類を、学術集会事務局まで Fax(03-3518-6139)でご送付下さい。
- 2) 会員番号の記入が無い場合は非会員とみなします。
- 3) 演題受領通知は、E-mailでお知らせいたします。したがって演題応募にはE-mailアドレスが必要です。
- 4) 演題の採否、発表形式、区分の決定は、プログラム委員を経て会長に一任させていただきます。決定のご報告は、平成 16 年 12 月下旬までにハガキで通知を行う予定です。
- 5) 今回より非会員連名発表費は無料とさせていただきます。
- 6) その他の詳細はホームページ上の注意事項をご覧ください。

#### 6. 抄録作成要項

ホームページ上のオンライン登録方法に従って、記入もれがないように入力してください。

#### 発表形式 I)

1. 学術発表(口演)
2. 学術発表(電子ポスター)
3. 教育展示(電子ポスター)
4. CyberRad

#### 発表区分 II)

診断	治療	核医学	IVR	基礎
10. 診断一般	20. 治療一般	30. RI診断	40. TAE	50. 物理
11. 単純X線	(含治療計画)	31. RI治療	41. PTA	51. 生物
12. 超音波	21. 小線源	32. 放射性医薬品	42. 血栓溶解	52. 造影剤
13. MRI	22. 温熱療法	33. 機器・データ処理	43. 動注療法	53. 被曝, 防護
14. CT	23. 粒子線	34. in vitro	44. 非血管	54. 装置, 技術
15. 血管造影	24. 薬剤	35. その他	45. 器具	55. 画像情報
16. その他	25. 定位放射線照射		46. 生検	56. その他
	26. その他		47. ステンツ	
			48. その他	

#### 発表区分 III)

A. 脳脊髄	B. 頭頸部	C. 乳腺, 内分泌	D. 呼吸器(縦隔含む)
E. 心大血管(肺血管含む)	F. 肝, 脾	G. 膵胆道	H. 消化管
I. 泌尿器(後腹膜腔含む)	J. 女性骨盤	K. 骨軟部(脊椎含む)	L. 末梢血管, リンパ
M. 小児	N. 救急	O. PACS関連	P. その他

\* 発表者は 10 人以内として下さい。

\* 抄録本文は、目的、方法、結果、結論等に分けて書き、文中に発表者や施設は入れないで下さい。

\* 文字数は演題名、所属、氏名、本文抄録、スペース全てを合わせて最大800字です。この字数を超えると登録できません。

\* 原則として、JIS第1, 第2水準に対応していない文字は使用できません。

## 7. 演題の採択

演題の採否はプログラム委員会の判定に基づいて行います。  
電子ポスターか口述かの振り分けのご希望はご容赦ください。

## 8. 参加登録費

事前参加登録費は10,000円(不課税)です。

- \* 郵便振替による事前参加登録の締切は平成 17 年 2 月 28 日です。期日までに本誌綴じ込みの事前参加登録費専用振替用紙にて送金して下さい。
- \* クレジットカードによる事前参加登録は、平成16年11月頃より実施致します。学会ホームページ(<http://www.radiology.or.jp>)にてご確認ください。  
平成 17 年 3 月下旬頃にネームカードをお送りします。ネームカード送付先は学会誌送付先と同じです。ネームカードが無いと入場できませんので、学会当日には必ずご持参下さい。
- \* 事前参加登録費の返却は、ネームカード発送前に限り、手続き料を差し引いて応じます。ネームカードの発送後の返却はいたしませんのでご了承下さい。
- \* 当日の会員参加登録費は12,000円(不課税)となります。非会員参加登録費は19,000円(税込)です。学生は1,000円(税込)です。

## 9. 口演発表(PC)について

プレゼンテーションは、以下の要領を熟知ください。

### 1) パソコンのお持込について

1. 口演発表は、ご自身でノートパソコンを持ち込んでのPCプレゼンテーションに限ります。
2. パソコンにトラブルのあった場合に備えて、バックアップとしてCD-ROMあるいはUSB大容量記憶装置デバイス(外付けUSBメモリー)をご用意ください。バックアップを持参されなかったために発表が不可能となっても実行委員会は責任を負いかねます。
3. 発表機種はWindows98以上(98, 2000, XP)が動作するDOS/V機かApple Power Macintoshをご使用ください。
4. 発表中またはその準備中にバッテリー切れとなることがあります。会場にはコンセント口を用意しておりますので、コンセント用電源アダプタを持参ください。
5. SONYのVAIOなど一部の薄型ノートパソコンで、モニタ出力端子がDsub-15ピン(下記の図)でないものがあります。この端子がないものは本体のみではプロジェクタにつなぐことができません。別売りのアダプタが必要となりますのでご自身でご用意下さい。



### 2) 発表手順について

1. 発表の 30 分前までにスライドセンターにて出力をチェックしてください。スライドセンターにはオペレータが待機しております。
2. スライドセンターにてチェックのうえ、セッションの始まる 15 分前には会場へパソコンをお持ちください。会場には次演者席付近に係員が待機しておりますので、プロジェクタへの接続をお申し出ください。
3. プロジェクタへの接続は係員が行いますが、発表時の操作はご自身で行ってください。

### 3)その他

1. ノートパソコンの一部機種でパソコンのモニタ出力端子より出力する解像度がVGA(640×480)に限定されている機種があります。その解像度以上のサイズでスライドを作成しますとノートパソコンの画面では正しく表示されていてもプロジェクタで投射した場合にレイアウトがくずれてしまう恐れがありますので、出力できる解像度を確認してからスライドの作成をされることをお勧めします。
2. スライドショーでは、誤って最後まで進んで終了してしまうと、最初からやりなおさなければなりません。最後のスライドの後に1枚ダミースライドを作っておかれることをお勧めします。
3. 発表中にスクリーンセーバや省電力機能で電源が切れてしまわないよう、設定の確認をお勧めします。
4. 上記の映写トラブルによる時間延長は認めません。自身の発表時間内にすべてが終了するよう対処(設定変更等)してください。また、パソコンの設定等取り扱いを熟知しておいてください。

### 10. 電子ポスター展示について

本年から新たに紙による展示に替えて、電子ポスターによる展示を募集致します。これは展示会場に約200台のパソコンを設置し、どの端末からでも全ての発表を閲覧できるシステムです。参加者は演題のカテゴリーや施設名、キーワードなどから検索して、自分の興味のある演題のみを抽出することができます。演題の登録方法はインターネット上で行いますが、抄録が採択された時点で発表者にその方法を通知致します。また発表者は定められた時間帯に指定された会場ないしシアターにおいて、発表2分、討論4分で要旨の発表と討論をしていただきます。

電子ポスターのモニターで閲覧できる項目は以下を予定しております。

イ)研究発表：日本医学放射線学会，日本放射線技術学会

ロ)教育発表：いわゆる教育展示も公募します。

イ)ロ)に対しては会長賞を設け、あらかじめ選考がなされます。

ハ)優秀論文賞の発表(例年のような口述発表は行いません。)

ニ)イメージインタープリテーションの症例提示

ホ)CyberRadの案内

ヘ)国際医用画像総合展の案内

ト)総合案内など

チ)その他

電子ポスターは所定のモニターでの閲覧の他、PCで無線ランによる閲覧も検討しています。

### 11. その他

交通、ホテル等のご案内は本誌64巻8号(11月号)に掲載予定です。

心肺蘇生(ACLS/BLS)講習会(平成17年4月7日(木)開催予定)の詳細は本誌65巻第1号(1月号)に掲載予定です。

### 12. 問い合わせ先

\* 演題登録：

〒102-0084 東京都千代田区二番町2-1

株式会社メディカルトリビューン

学術情報事業部

第64回日本医学放射線学会学術集会担当係

E-mail : jrs@nv-med.com

\* 演題審査関係 :

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65  
名古屋大学医学部放射線医学教室 内  
第 64 回日本医学放射線学会学術集会実行委員会  
TEL : 052-744-2327 FAX : 052-744-2335  
E-mail : fukatsu@med.nagoya-u.ac.jp

\* 参加登録費等

〒113-0033 東京都文京区本郷5-1-16 NP-IIビル 3 階  
社団法人 日本医学放射線学会事務局  
TEL : 03-3814-3077 FAX : 03-5684-4075  
E-mail : y-suzuki.jrs@nifty.ne.jp

\* その他学術発表会に関するお問い合わせ

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8  
王子不動産神田ビル 7 F( JRC内 )  
第 64 回日本医学放射線学会学術集会事務局  
TEL : 03-3518-6111 FAX : 03-3518-6139  
E-mail : jrc@asahi.email.ne.jp

## 日本医学放射線学会第 17 回優秀論文賞について

理事長 遠藤 啓吾

下記の如く第 17 回優秀論文を募集します。

### 記

#### I. 応募資格：

1. 日本医学放射線学会会員歴 5 年以上の研究者
2. 応募締切時，満 45 歳未満の者

#### II. 応募方法：

1. 過去 1 年間(今回は平成 15 年 9 月より平成 16 年 8 月まで)の放射線医学関係の雑誌(国内外を問わない)に掲載された論文を代議員が推薦する(但し，日本国内において実施した研究に限る)
2. 推薦書および応募論文の別冊またはコピーを各 25 部学会事務局に書留にて送付する。但し，提出された資料はいかなる理由があっても返却しない。  
(推薦用紙は所定のものがあり，学会事務局に請求して下さい)

#### III. 締切：平成 16 年 9 月 10 日(金)必着

#### IV. 選抜方法：

理事会において，受賞者 3 名以内を選抜する。少なくとも 1 名は日本医放会誌掲載論文より選ぶ。  
(選抜決定は平成 17 年 1 月上旬の予定)

V. 受賞者は日本医学放射線学会優秀論文賞の表彰楯，賞金 10 万円が贈呈され，本学会総会において受賞講演を行う。

学会事務局：〒113-0033 東京都文京区本郷 5 丁目 1 番 16 号  
NP-IIビル 3 階  
社団法人 日本医学放射線学会優秀論文賞事務局  
TEL：03-3814-3077 FAX：03-5684-4075

## 日本医学放射線学会板井研究奨励賞募集要領

理事長 遠藤 啓吾

趣 旨：

日本医学放射線学会では、平成 15 年 1 月 19 日逝去された板井悠二先生の御遺志により放射線診断学の発展を願って寄付された基金を元に、先生を追悼記念するため板井研究奨励賞を設けて、腹部画像診断に業績のあった若い研究者を顕彰する。

応募資格：

日本医学放射線学会員であり、平成 17 年 4 月 1 日現在 40 歳未満のもの。

対 象：

腹部画像診断領域の研究者 2 名程度を対象とする。

応募方法と提出書類：

1. 履歴書
  2. 研究成果の要約：2,000字以内に研究主題に関する業績を要約
  3. 業績目録
  4. 研究主題に関係した主たる論文の別冊(最重要の一編に丸印をつける)
- (2. 3. 4. については、コピーを各々 1 部学会板井研究奨励賞事務局宛に送付下さい)

応募書類送付先：

〒113-0033 東京都文京区本郷 5 丁目 1 番 16 号 NP-IIビル 3 階  
社団法人 日本医学放射線学会 板井研究奨励賞事務局

締め切り：

平成 16 年 11 月 27 日(土)

選考方法：

腹部放射線研究会から候補者の推薦を受け日本医学放射線学会理事会で決定する。

選考発表：

日本医学放射線学会総会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

賞：表彰盾および副賞 25 万円

## 日本医学放射線学会研究助成金制度の応募要領

理事長 遠藤 啓吾

【目的】 本助成金制度は日本医学放射線学会員の放射線医学に関する研究の機会を上げ、放射線医学水準の向上を図るため、若手研究者に研究助成金を贈り、将来に向けて若手研究者を育成する事を目的とする。

【対象】 放射線医学(基礎・臨床を問わず)に関する研究で、本研究助成の目的に合致するもの。

【応募資格】 平成 16 年 4 月 1 日現在 40 歳未満の日本医学放射線学会員で、大学等研究機関以外の施設に勤務の学会員、或いは大学等研究機関にあっては文部科学省等の科学研究費の申請ができない学会員。研究に当たっては国内外を問いません。

【助成金額】 1 件当たり100万円

【募集件数】 5 件

【応募締切】 平成 16 年 8 月 31 日(火)

【選考方法】 日本医学放射線学会が委嘱した選考委員会において選考し、理事会で決定する。

【助成決定】 当該年 10 月下旬

### 【応募要領】

#### 1. 提出書類

所定の申請書を日本医学放射線学会研究助成制度事務局へ申し込み、記入後、期限までに下記へ提出して下さい(研究目的と研究概要は併せて2,000字以内)。申請書は日本医学放射線学会のホームページ(<http://www.radiology.or.jp/>)からダウンロードして下さい。

宛名を明記した返信用ハガキ 1 枚

#### 2. 書類送付先

〒113-0033 東京都文京区本郷 5 丁目 1 番 16 号 NP - IIビル 3 階

社団法人 日本医学放射線学会 研究助成制度事務局

TEL : 03-3814-3077 FAX : 03-5684-4075

### 【助成金受領者の義務】

研究成果報告書(経過と結果)、及び助成金の使用状況についての収支報告書(証拠書類添付)を助成決定後 1 年以内に提出する。

研究終了後、日本医学放射線学会誌に原著論文、または他学術雑誌に出版された論文の抄録を発表する。その際本研究助成金制度を受けた事を表記する。



## 放射線科専門医修練機関認定および協力機関承認について

理事長 遠藤 啓吾

I. 下記機関は放射線科専門医修練機関として申請が出され認定されました。

尚、放射線科専門医修練機関の認定、及び修練協力機関の承認の新規申請に関する手続きは毎年5月1日から5月31日です。

地方	認定番号	機関名	認定部門	認定年月日
関東	411	総合病院土浦協同病院	全部門	平成15年4月1日
	412	東京医療生活協同組合中野総合病院	放射線診断学	平成15年4月1日
	413	東京医科大学霞ヶ浦病院	全部門	平成15年4月1日
	414	北里研究所メディカルセンター病院	全部門	平成15年4月1日
関西	415	医療法人社団神鋼会神鋼病院	放射線診断学 核医学	平成15年4月1日
	416	市立吹田市民病院	放射線診断学 放射線治療学	平成15年4月1日
	417	京都桂病院	全部門	平成15年4月1日
	418	西脇市立西脇病院	放射線診断学 核医学	平成15年4月1日
九州	419	宮崎県立延岡病院	全部門	平成15年4月1日
	420	大分県厚生連鶴見病院	放射線診断学 核医学	平成15年4月1日

II. 下記機関は放射線科専門医修練機関として一部追加申請が出され承認されました。

地方	認定番号	機関名	認定部門	認定年月日
関東	401	埼玉県済生会川口総合病院	核医学	平成15年4月1日

III. 下記機関は放射線科専門医修練協力機関から修練機関に申請が出され認定されました。

地方	認定番号	機関名	認定部門	認定年月日
北日本	421	医療法人徳洲会札幌徳洲会病院	放射線診断学	平成15年4月1日
関東	422	国保直営総合病院君津中央病院	放射線治療学 核医学	平成15年4月1日
関西	423	独立行政法人国立病院機構 神戸医療センター	全部門	平成15年4月1日
	424	兵庫県立塚口病院	全部門	平成15年4月1日
	425	松下電器健康保険組合松下記念病院	全部門	平成15年4月1日
九州	426	熊本赤十字病院	全部門	平成15年4月1日
	427	独立行政法人労働者保健福祉機構 熊本労災病院	全部門	平成15年4月1日
	428	済生会熊本病院	放射線治療学 核医学	平成15年4月1日
	429	国立病院機構熊本再春荘病院	全部門	平成15年4月1日
	430	公立八女総合病院	全部門	平成15年4月1日
	431	独立行政法人国立病院 機構熊本医療センター	全部門	平成15年4月1日
	432	社団法人八日会 藤元早鈴病院	全部門	平成15年4月1日

IV. 下記機関は放射線科専門医修練協力機関として申請が出され承認されました。

地 方	認定番号	協力機関名	修練機関名	認定部門	認定年月日
北日本	505	むつ総合病院	弘前大学附属病院	放射線診断学 核医学	平成16年 4 月 1 日
	506	古川市立病院	東北大学附属病院	全 部 門	平成16年 4 月 1 日
	507	札幌社会保険総合病院	北海道大学附属病院	放射線診断学 核医学	平成16年 4 月 1 日
	508	手稲溪仁会病院	北海道大学附属病院	放射線診断学	平成16年 4 月 1 日
関 東	509	財団法人筑波麓仁会総合病院 筑波学園病院	筑波大学病院	放射線診断学	平成16年 4 月 1 日
	510	日本赤十字社東京都支部総合病院 大森赤十字病院	東京医科歯科大学病院	放射線診断学	平成16年 4 月 1 日
	511	国家公務員共済組合 連合会立川病院	慶応義塾大学附属病院	全 部 門	平成16年 4 月 1 日
	512	東京都保健医療公社 東部地域病院	日本大学附属病院	放射線診断学 核医学	平成16年 4 月 1 日
中 部	513	静岡赤十字病院	慶應義塾大学附属病院	全 部 門	平成16年 4 月 1 日
	514	名古屋掖済会病院	名古屋大学附属病院	全 部 門	平成16年 4 月 1 日
	515	公立南砺中央病院	金沢大学附属病院	放射線診断学	平成16年 4 月 1 日
	516	医療法人山本総合病院	三重大学附属病院	放射線診断学	平成16年 4 月 1 日
	517	医療法人厚生会総合病院 木沢記念病院	岐阜大学附属病院	放射線診断学 核医学	平成16年 4 月 1 日
関 西	518	大阪府済生会野江病院	滋賀医科大学附属病院	放射線診断学 核医学	平成16年 4 月 1 日
	519	神鋼加古川病院	神戸大学附属病院	放射線診断学	平成16年 4 月 1 日
	520	六甲アイランド病院	神戸大学附属病院	放射線診断学 核医学	平成16年 4 月 1 日
	521	市立枚方市民病院	大阪医科大学附属病院	放射線診断学	平成16年 4 月 1 日
	522	独立行政法人国立病院機構 兵庫中央病院	神戸大学附属病院	放射線診断学 核医学	平成16年 4 月 1 日
	523	大阪府済生会千里病院	大阪大学附属病院	放射線診断学 核医学	平成16年 4 月 1 日
	524	医療法人財団康生会武田病院	滋賀医科大学附属病院	放射線診断学 核医学	平成16年 4 月 1 日
九 州	525	中部徳洲会病院	琉球大学附属病院	放射線診断学	平成16年 4 月 1 日
	526	長崎県立島原病院	長崎大学附属病院	放射線診断学 放射線治療学	平成16年 4 月 1 日
	527	筑後市立病院	久留米大学附属病院	放射線診断学	平成16年 4 月 1 日

V. 下記機関は放射線科専門医修練協力機関として一部追加申請が出され承認されました。

北日本	411	市立室蘭総合病院	札幌医科大学	放射線診断学	平成16年 4 月 1 日
関 東	308	上都賀総合病院	千葉大学附属病院	核医学	平成16年 4 月 1 日
関 西	140	明石市立市民病院	京都府立医科大学附属病院	核医学	平成16年 4 月 1 日

## 平成 16 年度 , 17 年度役員

理事長 遠 藤 啓 吾

平成16年度 , 17年度役員改選により , 下記のとおり理事・監事が決まりましたので , お知らせいたします .

(五十音順)

理 事	池 田 恢
	石 垣 武 男
	遠 藤 啓 吾
	大 友 邦
	久 保 敦 司
	隈 崎 達 夫
	杉 村 和 朗
	田 村 正 三
	中 村 仁 信
	西 谷 弘
	早 淵 尚 文
	平 岡 真 寛
	本 田 浩
	松 井 修
	宮 坂 和 男
	山 田 章 吾
監 事	伊 藤 勝 陽
	檜 林 勇

平成 16 年度, 17 年度代議員

理事長 遠 藤 啓 吾

青 木 純	内 山 勝 弘	蒲 田 敏 文	佐 藤 功
赤 木 史 郎	宇 都 宮 啓 太	鎌 田 憲 子	佐 藤 雅 史
芦 澤 和 人	宇 野 公 一	上 紺 屋 憲 彦	佐 藤 守 男
足 立 秀 治	宇 野 隆	河 相 吉	澤 田 敏
油 野 民 雄	江 原 茂	菅 信 一	穴 戸 文 男
阿 部 公 彦	遠 藤 登 喜 子	北 垣 一	芝 本 雄 太
阿 部 由 直	遠 藤 真 広	吉 川 公 彦	洪 谷 均
荒 木 力	大 石 元	木 村 元 政	下 田 悠 一 郎
有 澤 淳 裕	大 内 敏 宏	草 野 正 一	上 甲 剛
安 藤 裕 清	大 川 元 臣	工 藤 幸 夫	白 宮 博 樹
石 井 恒 男	大 塚 誠 篤	栗 林 喜 久	神 陣 之 内 正 史
石 口 礼 一	岡 崎 正 敏	黒 崎 昌 宏	末 山 博 男
石 蔵 忠 司	岡 崎 馨 一	桑 原 康 雄	杉 野 吉 則
石 橋 正 敏	岡 田 淳 一	小 泉 潔 一	杉 本 英 治
伊 丹 純	岡 田 進	甲 田 英 一	鈴 木 謙 三
市 川 太 郎	岡 部 春 海	高 麗 文 晶	住 戸 幸 治
一 矢 有 一	岡 村 光 英	興 梧 征 典	瀬 戸 宏 平
伊 藤 亨	岡 本 浩 一 郎	古 賀 佑 彦	仙 田 宏 道
伊 藤 健 吾	小 川 健 二	児 島 完 治	千 田 俊 典
伊 藤 春 海	小 川 敏 英	小 須 田 茂	副 島 良 尋
伊 東 久 夫	小 川 恭 弘	小 玉 隆 男	高 井 良 均
稲 邑 清 也	越 智 誠 雄	古 寺 研 一	高 島 昭 喜
犬 上 篤	鬼 塚 英 彦	小 西 淳 二	高 橋 元 一 郎
井 上 登 美 夫	鬼 塚 昌 彦	小 林 尚 志	高 橋 寛 雄
井 上 佑 一	小 野 公 二	小 林 英 敏	竹 原 康 之
猪 俣 泰 典	小 野 千 秋	齋 田 幸 久	田 島 廣 之
今 井 裕 義	小 幡 康 大	酒 井 邦 夫	田 中 良 明
今 枝 孟 成	柿 崎 辰 美	坂 田 耕 一	玉 木 長 良
今 城 吉 孝	梶 地 康 正	阪 原 晴 海	玉 木 義 雄
上 谷 雅 孝	梶 原 康 正	佐 久 間 肇	築 根 吉 彦
上 野 恵 子	片 田 和 廣	佐 古 正 雄	洞 口 正 彦
上 野 淳 二	勝 山 直 文	笹 井 啓 資	辻 井 博 彦
牛 嶋 陽 恵	角 谷 眞 澄	佐 々 木 雅 之	土 亀 直 俊
内 田 伸 晃	金 澤 右 裕	佐 々 木 康 人	土 屋 一 洋
内 野 晃	兼 平 千 裕		

手島昭樹  
 寺嶋廣美  
 富樫かおり  
 土器屋卓志  
 徳植公紀  
 利波久静  
 利波久静  
 富口村則博  
 戸内藤岡宣  
 長尾島康政  
 中島條田  
 中田田凱  
 永野隆茂  
 中野村健善  
 鳴繩難西西  
 西村村恭

似鳥俊明  
 沼口雄治  
 野崎正和人  
 蓮尾金正博  
 長谷川正俊  
 畑澤順一  
 蜂屋場祐之  
 馬川和重  
 早川克己  
 早林邦三  
 林田潤太  
 原田雅史  
 原田眞咲  
 原磨山雅人  
 播晴東光太郎  
 菱川良夫  
 平木祥慶博  
 廣川裕三  
 廣田橋省治  
 廣福福田彦  
 福田寛

福永仁夫  
 藤井正崇  
 藤岡睦彦  
 藤田信久  
 古井滋  
 古瀬信子  
 平敷淳昭  
 星博正治  
 星木拓野  
 細矢貴亮  
 細堀憲業  
 本多正徹  
 本前原忠行  
 前野正興  
 牧木英一  
 正田康治  
 増町岡利幸  
 松松尾導昌  
 松永尚文  
 松本常男  
 丸橋晃  
 三浦行矣

三水木均  
 水口昌伸  
 水道沼仁孝  
 三岸隆敏  
 三橋紀夫  
 三原次太  
 三宮宏次  
 宗上卓道  
 村田喜代史  
 村中山光  
 村山貞一  
 望月輝二  
 森莊宣  
 森山紀之  
 山山下康行  
 山本宏起  
 吉川祥淳  
 吉田村均  
 吉渡村祐司  
 渡会二郎

250名(五十音順)

## 日本医学放射線学会合同研究会ご案内

### 第 6 回医用画像認知研究会 第 6 回遠隔画像診断部会 第 4 回画像診断報告書研究会

合同研究会を下記の要領で開催します。なお、第 23 回医用画像電子化研究会も同時期に同じ会場で開催されます。

シンポジウム形式のほかに、一般演題を募集いたします。多数のご参加をお待ちいたします。また、フィルムレス運用を行っている徳島大学病院の見学を予定しています。

会 期：平成 16 年 8 月 21 日(土), 22 日(日)

会 場：徳島大学蔵本地区 長井記念ホール

一般演題募集：平成 16 年 7 月 21 日(水)締切

演題送付先：徳島大学 西谷 弘

〒770-8503 徳島市蔵本町 3 丁目

徳島大学医学部放射線科

E-mail : hiro@clin.med.tokushima-u.ac.jp

TEL : 088-633-7172

FAX : 088-633-7174

参加費：当日，受付にて現金でお支払い下さい。

当日登録：3,000円

JRC2005 CyberRad展示発表演題募集  
第 64 回日本医学放射線学会学術集会

会 長 石 垣 武 男

JRC CyberRad委員会委員長 石 垣 武 男

CyberRadは、日本医学放射線学会、日本放射線技術学会、日本画像医療システム工業会の3者の合同で行う学術展示です。CyberRadは、一般演題、テーマ展示、チュートリアルからなり、プログラムと抄録は、各々の学会誌に掲載されます。

平成 17 年 4 月に横浜で開催されますJRC2005におきましても、テーマ展示のテーマとして“複数部門システムの「わ」を考える - IHEで実現するe - Hospital(標準的電子カルテとPACS) - ”を掲げました。また、従来のように、電子機器(パソコンやワークステーションなど)を用いました展示発表を広く会員から一般公募致します。発表テーマは自由ですが、発表方法は演者が電子機器(ワークステーションやパソコンなど)を会場に持ち込み、電子機器を用いた発表となります。音声認識、動画表示装置、3次元立体表示装置、診療支援システム、対話形式のソフトウェア、ネットワーク対応の画像診断装置など、今後ますます医療にインパクトを与えると考えられる IT関連のテーマなどを応募下さい。

展示期間中、各演者は展示ブースで実演発表を行って頂きます。また、希望者には、ミニシアターでの口頭発表も準備致します。また、JRCでは、希望者に対して展示機器の輸送費用の一部を負担いたします。詳細は、演題採択後各演者へ通知致します。

応募資格は、日本医学放射線学会、日本放射線技術学会、日本画像医療システム工業会のいずれかに所属していることが条件となります。演題募集は、第 64 回日本医学放射線学会学術集会の演題申し込みと同様に行います。応募の締め切りは、10 月 13 日(水)です。演題の採否はJRC CyberRad委員会で決定します。

演題申し込みにつき、日本医学放射線学会、日本放射線技術学会、日本画像医療システム工業会のいずれにも所属していない方はJRC事務局にお問い合わせ下さい。

多数のご応募をお待ちしております。

有限責任中間法人 日本ラジオロジー協会(JRC)

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8 王子不動産神田ビル7F

電話 03-3518-6111 FAX 03-3518-6139

e-mail : jrc@asahi.email.ne.jp

URL <http://www.j-rc.org>